



岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門鹿田施設
Newsletter

2011
Nov. 22

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

実験動物用 X 線 CT 装置 Latheta LCT200 の 供用を開始しました。

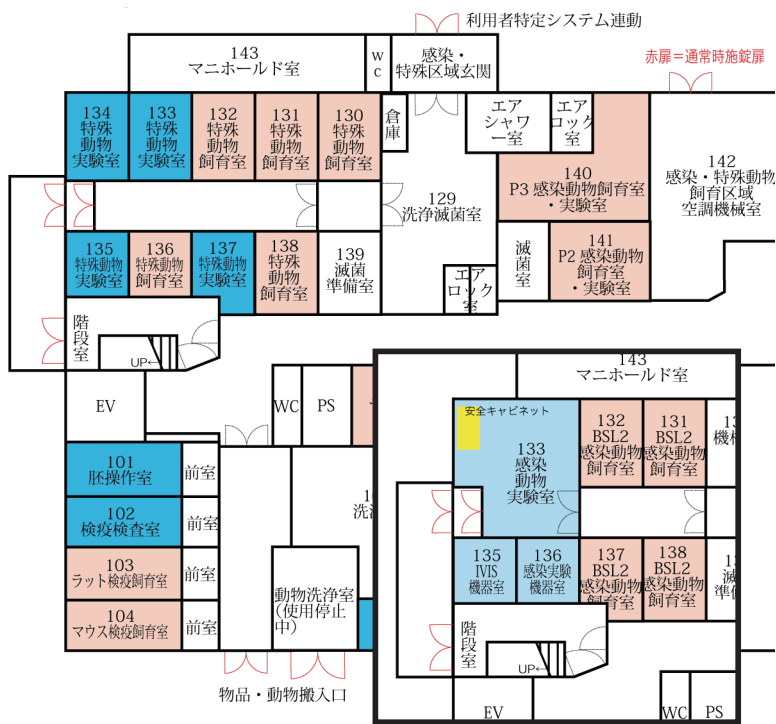
実験動物用 X 線 CT 装置が納入され、11 月 1 日付で正式の運用を開始いたしました。本機はラット・マウスを用いた動物実験での形態観察を目的とした断層撮影専用装置ですが、直径 120mm までであれば被写体を選びません。また、高空間分解能を生かして、摘出した骨や歯、石灰化した血管等の撮影も可能です。本機は、受付で事前予約をした施設利用登録者であれば終日利用可能です。なお、藤井匡寛技術専門職員が担当し、運用します。



224 室 X 線 CT 装置室 (旧マウスコロニー管理室)



BSL-2 感染実験室を整備、感染実験用 IVIS の共用を開始します。



改装前の新館 1 階西側平面図及び
改装部分の平面図 (パネル内)

長年、機能不全状態であった感染実験区域西側小部屋群（特殊実験室 130～139 室）の改装に着手し、共用を開始いたしました。今回の改装では、133 室及び 134 室の壁を部分的に撤去、約 30m² の BSL-2 レベル感染実験室（パネル内平面図参照）を作出しました。また、実験室に面した 135 室及び 136 室は特殊機器室にし、特に、135 室には、共同利用可能な感染実験用 IVIS を移設、隣接 4 室（131 室・132 室・137 室・138 室）を感染動物飼育室にすることにより、単一の区域で BSL-2 レベルの感染実験が実施・完結できるようになりました。来年度以降は、感染実験区域西側の BSL-3 レベルの感染実験区域の整備に着手する予定です。



133 室 (改装前)



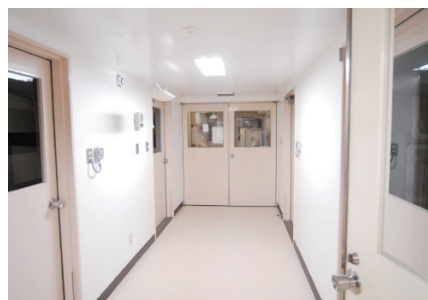
134 室 (改装前)



廊下 (改装前)



改装後の新 BSL-2 感染実験室 (133 室 & 134 室 + 廊下)



廊下 (改装後)



135 室 & 136 室 (IVIS 機器室)